

近年では、東日本大震災などの大規模地震災害や記録的な集中豪雨、またそれによる水害および土砂災害の発生など、様々な災害が後を絶ちません。また今後、南海トラフ巨大地震なども想定されています。そこで、過去の災害事例やその教訓を生かし、国・府および関係機関と連携を図りながら対策を図っていくため、本市では「泉佐野市地域防災計画」を定め防災の取組を進めています。

また、市内の学校におきましては、社会科や理科、総合的な学習の時間や特別活動など、様々な教育活動を通して、環境教育や安全教育などの一環として行う「防災教育」を進めています。例えば、環境教育として、災害の直接の原因となる自然について知り、自然と人間との関わりを学ぶ中で、自然には恩恵と災害の二面性があることに気づかせることや、安全教育としての避難訓練を実施するなど、防災意識を高め、主体的に行動する姿勢につなげる「防災教育」に取り組んでいます。

防災教育について

いずみさの教育

NOW
いずみ

問合先
学校教育課

学校園紹介

感じよう 楽しもう つながろう ～さくらこども園～

こども園としてスタートして4年目…今年も元気いっぱい213人の子どもの声が、園舎中に響いています。日常生活の中にあるいろんな「音」に耳をすましてみると、子どもたちの興味をそそるようないろんな音の発見があります。子どもたちがお散歩にでかけたり、園内においても「あっ！こんな音が聞こえたよ」と感じたときに、それを伝え合い共感し合える手段として、玄関ホールに、大きな「音さがしの地図」が貼られています。ひとりが感じたことや発見したことをお友達や先生たちと共感し、いろんな方法で表



現できることで、自分の持っている力をどんどん発揮できるよう取り組んでいます。

春には、二色の浜公園まで遠足にでかけ、波打ち際で貝殻拾いをしたり、広い公園で十分に遊んできました。また、ゲストを招いて台所楽器演奏やマリンバ演奏を聴いたり、大阪府内の大学コーラス部による子どもたちのよく知っている歌の混声合唱を聴いたりして、本物の文化に触れる機会をもっています。

心身ともに健康でたくましい子ども、感性豊かにのびのびと表現できる子ども、自分で考え意欲的に行動できる子ども、友達を大切に仲間とともに伸びていく子どもをめざして日々の保育に取り組んでいます。



また、地域の就学前の親子対象の子育て支援事業として、遊びの教室・園庭開放・育児教室・施設開放・行事開放など、地域の就学前の親子が集い、一緒に遊びながら子どもを通してつながりがもてる事業を行っています。

今年の上之郷小学校 ～上之郷小学校～

■平成29年度大阪府教育庁のAS（アクティブ・スクール）事業を受け、基礎基本の学習の定着をもとに、主体的・探究的に学ぶ態度を育むことを目標に現在2つのことに取り組んでいます。

●授業時間の確保…着席して授業開始チャイムを聞こう。（本校は休憩時間終了2分前に音楽が切れ、児童はそれを合図に教室に戻り着席し、授業の準備をします。児童会の役員も「みんなで授業を大切にしよう」と呼びかけています。）

●朝学習で基礎基本の定着…既習内容が定着するように、普段から復習プリントに取り組み大切なことを繰り返し練習しながら身につけていきます。

■5月5日（金）日根神社例大祭「まくら祭り〔本宮〕」が開催されました。今年は、3年ぶりに上之郷地区が担当し、上之郷小学校4年生以上の有志41人が日根神社総代・町会役員・子ども会役員の皆様に見守られながら神輿を曳行しました。朝8時30分に上之郷小に集合し日根神社に向かいました。日根神社で神事が執り行われた後、蟻通神社・御旅所→上之郷小学校→日根神社までを曳行しました。各町会でおもてなしを受けながら、陽射しの厳しさにも負けず無事に役割を果たすことができました。



根神社で神事が執り行われた後、蟻通神社・御旅所→上之郷小学校→日根神社までを曳行しました。各町会でおもてなしを受けながら、陽射しの厳しさにも負けず無事に役割を果たすことができました。

